

◎人間革命の宗教

「私たちはどこまでも、「人のために」灯をともしていきます。目の前で悩んでいる人、苦しんでいる人のもとへと足を運び、妙法の光で、自他共に無明という生命の闇を晴らしていくのです。

歩けば歩いた分だけ、社会に尽くし、互いに福運を積むことができる。学会員は自他共に、最高の「幸福の軌道」に則った人生を進んでいるのです。

(『人間革命の宗教』 314 ページ)

◎世界を照らす 太陽の仏法

私は、恩師・戸田先生が、故郷の厚田村で夕日に染まる海を見つめながら語ってくださった言葉が、今も耳朶から離れません。

「世界は広い。そこには苦悩にあえぐ民衆がいる。いまだ戦火に怯える子どもたちもいる。東洋に、そして、世界に、妙法の灯をともしていくんだ。この私に代わって」と。私は恩師の名代として、世界広宣流布の道を同志と共に開き、妙法という平和の種を、行く国、行く地で蒔いてきました。今、私は「世界青年学会」の新出発にあたり、不二の地涌の若人たちに、恩師の「この私に代わって」との言葉を贈りたい。

(「大白蓮華 2023 年 12 月号」 24 ページ)